



第11刊  
2014年5月15日発行  
Tsukuba for 3.11  
編集長：福井俊介  
題字：小中大地

# 食と酒東北祭り



立川哲之

こんにちは。暖かくすっきりした天気が多くて気持ちのよい季節になりましたね。さて、ちょうど冬と春の境目付近であった3月の21日と22日につくば駅のセンター広場にて「食と酒東北祭り」というイベントを開催いたしました。

「食と酒東北祭り」とは、東北の酒造店や、食品加工店、飲食店等の方々がつくばに集結して行った、日本酒版ビアフェスタです。お祭りの大きな趣旨は、多くの方が東北に興味を持つきっかけとなる場を作ることです。初開催の今回は、酒の部門は13蔵8店舗、食の部門は10店舗の方々に出店していただきました。また、会場のステージでは12の団体に公演をしていただきました。

1日目は、とても風が強く肌寒い天気でしたが、それでも多くの方がいらしていただき、嬉しかったです。2日目は、前日とは打って変わって天候に恵まれ、風もなく暖かな日で、最初から最後まで本当に大勢の方が来場していただきました。夕方には多くの店舗の商品が売り切れるほど盛況でした。

筑波大学応援部 WINS さんのオープニング



会場の様子



東北へのメッセージを書いていただきました

ありがたい事に2日間で約4000人という多くの方に来場していただいて祭りは幕を閉じました。なにより無事故で終わって本当に良かったです。初開催でわからないことも多く、準備からずっと手探りで、開催前はとてつもなく不安でした。そんな中で開催したのですが、東北の酒造さんに「いい祭りだね」「これからも頼むよ」と言われた時はこの祭りを開催してよかったと心底思いました。

また、祭りがはじまった時と終わった時の不思議な気持ちは忘れることができません。安堵感なのか達成感なのか、はたまた疲労感なのか嬉しさなのか、本当に不思議な気持ちで、ただただ感無量でした。

この祭りを通して今まで以上に東北の魅力や、東北の方の優しさと温かさにとくさん触れることができたことも、非常に嬉しく思います。

最後になりましたが、学生が主催する初開催の祭りに快く出店、出演してくださった方々、ご支援、ご協力くださった方々、ご来場くださった方々など、本当に大勢の方に支えられて、このお祭りを開催することができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。







# しゃべり場に行ってきました♪

下田梢

2014年4月20日（日）、桜老人福祉センターにて開催された元気つく場会（いい仲間つく浪会）の古場さん主催の「しゃべり場」へお手伝いとして参加させていただきました！

今回のしゃべり場は、「尺八を楽しむ会」と題し、3名の方による尺八の演奏が行われました。素敵な尺八の音色に、皆さん聴き入っておられました！また、いつもと同じく参加者で楽しくお話をしたり、盆踊りを踊ったりしてとても楽しい会でした☆

皆さん、ありがとうございました！



## 活動報告会



小池ちはる

4月15日、24日に活動報告会を開催しました。筑波大学にも新入生が入学してきて、各サークル、学生団体による新歓活動が行われています。Tsukuba for 3.11も今回の活動報告会は新入生歓迎会も兼ね、今までの活動報告、震災復興に関するディスカッション、団体紹介を行いました。両日とも新入生だけでなく、在學生も参加してくれました。



ディスカッションでは、ボランティア活動にはどのようなものがあるのか、復興にゴールはあるのか、など簡単には答えがでないテーマもありましたが各々の考えが聞け、充実したものになりました。

# なごその希望

# アートフェス 2014

つなごう 未来へのバトン

に行ってきました♪



下田 梢

2014年3月9日、福島県いわき市勿来(なごそ)地区で開催された「なごその希望アートフェス2014」に参加させていただきました！

当日は風もなく穏やかな天気となり、なごそ地区の海岸線はたくさん親子連れなどにぎわっていました！



錦町須賀に出現した巨大な防潮堤アート



多くの方がペンキで思い思いの絵を描いていました。



岩間地区では、みんなの願いを書いたリボンが流木に飾り付けられていました。



お世話になったなごその皆さん、大学生のみんなと☆

なごそ地区で、アートフェス開催地となった3地点のうちの1つ、**錦町須賀**では、地元の中学生在が中心となり防潮堤に巨大な絵が描かれていました。また、**岩間地区**では流木アートと題し、多くの人の願いが書かれたリボンが風にたなびいていました。

今回もなごそ地区では、多くの人の**あたたかさ**に触れることができ、また、震災について改めて考えるきっかけとなりました。お世話になった皆さま、**ありがとうございました！**

※なごその希望アートフェスとは：いわき市勿来地区で、なごそ復興プロジェクトの皆さんが主催した、アートを通し被災地の現状、勿来の皆さんの元気を発信することを目的としたフェスティバルのこと。



# 「つくしまの声」

募集中♪ 下田梢

現在、Tsukuba for 3.11 ではつくばに住む皆様からのご意見・ご相談などを募集中です！

「こんなことに困っている…」

「つくばにこんなものがあればいいなあ」

「こんな企画をやってほしい！」

などなど、どんな些細なことでも構いません。

以下のメールアドレスまで、

件名を「つくしまの声」として

お送りください！

皆さまからのご意見、お待ちしております☆

メールアドレス：tsukubafor311@gmail.com

# メンバー紹介 ～てっちゃん編～



立川 哲之

(てっちゃん、てちかわ)

生物資源学類 3年

「食と酒 東北祭り」

実行委員長の、

Tsukuba for 3.11イチの

熱い男です！！

みんなに聞いてみました！

てっちゃんってこんな人。

筋肉

とてもカッコいい☆

行動力のある人

頭良い！

どこにでもいそうな顔。ゴリラ(笑)



霜鳥太一

今回の企画を通して、より多くの方々にTF3の活動を知っていただくことの重要性を改めて感じました。



写真は、展示準備終了後、「僕らの夏休みProject」さん、「みにぷろ」さんとのワンショット。

# 図書館展示

を行いました！

2014年3月24日(月)～4月22日(火)の約1か月間、筑波大学附属中央図書館2Fメインカウンター前において、図書館展示を行いました。

今回は、Tsukuba for 3.11(以下、TF3)と同じく、東日本復興支援団体である「僕らの夏休みProject 筑波大学支部」さん、「みにぷろ」さんと合同で図書館展示を行いました。

展示の内容は、TF3の団体概要やつくば、いわきなどにおける活動報告などで、TF3の広報が主な目的でした。

どのような反響があるのかと楽しみにしていたところ、展示を見て、活動報告会(詳細は 面をご覧ください)に足を

運んでくれた新入生もいて、宣伝効果は絶大でした！

今回の企画を通して、

より多くの方々にTF

3の活動を知って

いただくことの重要性を改

めて感じました。

復興民へ思いをつなぐ

# つぐみサポートセンター

No.8

ふうあいねっと副代表

(筑波学院大学・NPOフュー

ジョン社会力創造パートナーズ)

武田直樹さん



「地域全体で地域住民同士がサポートできる体制を整えるための支援」を行っている「ふうあいねっと」副代表で、筑波学院大学・NPOフュージョン社会力創造パートナーズの武田直樹さんにインタビューしました。現在はつくば市を中心に、美浦町・稲敷市など茨城県南で福島県からの避難者の地域でのサポート体制の構築を中心に、精力的に活動されています。

武田さんは筑波学院大学に勤め始めて今年で九年目。その以前は、カンボジア、タイに二年ずつ滞在し、国際的に活動していました。現地では、農村や都市のスラム街で母子保健や教育について関わっていたそうです。その地域では衛生状態も良くないうえ、国の医療体制も十分ではありません。そこで乳幼児の死亡や感染症が多くみられていました。それを改善するために、まず地域に暮らす住民に健康教育を行い、次にその地域の人たちが自分たちで課題解決できるように「自助グループ」を作れるように支援していました。

海外でそのような活動を続けていて、地域住民の間で悩みや問題を相談しあい、話し合え、解決できるセーフティネットワークといわれる体制を整えるために活動してきたので、福島県からの避難者の支援を行うことは、**自分のDNA**だと武田さんは言います。

「支援しない理由はなかった。しかし、**原発事故の影響で日本国内、しかも自分の故郷の茨城で避難者・難民が出る**ということとは信じられないくらい驚いた。」

と語っています。

Tsukuba for 3.11の交流会に多く参加していただいて、多くの参加者のお話を聞いてくださいます。ご家族とご一緒に参加されることもあります。



これからも、つくば市を主な活動拠点とし、ネットワークを**ニ茨城**のネットワークにしたいと考えているそう。

「**茨城県内に暮らす福島県からの避難者が、少しでも安心して生活できるように、行政・民間・地域が補い合いながらサポートできるような土壌作りをしたい**」と語っています。

私たちTsukuba for 3.11はこれからも武田さんと協力して、活動していきたいと考えています。

震災後、茨城県内での支援者ネットワークとしての役割を果たす「ふうあいねっと」を立ち上げ、副代表として現在も活動しています。ふうあいねっとは、専門機関、大学やNPO法人など約三十団体が協力して支援できるような茨城県全体のネットワークを作りたいと思い、設立されました。私たちTsukuba for 3.11もふうあいねっとに所属しています。武田さんとTsukuba for 3.11とは、震災直後から関わりを持っています。震災直後は福島県のいわき市とつくば市を結ぶボランティアバスの運行、気仙沼へのボランティア派遣、つくば市内での避難者支援を行ってきました。東日本大震災について理解するには、**津波被害についてのこと、津波と原発の複合被害についてのこと、原発避難者についてのこと、**被害の違うそれぞれの地域に関わる必要があると考えた武田さん。そこで震災以降、いわき・気仙沼・つくばの三か所でTsukuba for 3.11とともに活動してきました。



木村奈那子



# 国土地理院（地図と測量の科学館）

このつくば市には筑波大学をはじめ、様々な研究施設があります。さて私たちの生活に地形図は必須ですが、これを発行しているのは国土交通省におかれる機関、国土地理院です。その国土地理院はなんとつくば市にあるのです。

「国土地理院のどこがおすすめスポットなんだよー!! 地図作ってるだけの所じゃないかー。」

なんていう声も聞こえてきそうですが、実は大人も子供も十分に楽しめるおすすめスポットが併設されているのです。

「地図と測量の科学館」名前を見てもまだ硬い印象ですが、ゲーム感覚で地図や測量に関して学べるように工夫された施設で行ってみると、とてもおもしろいのです。私も去年の夏に足を運んでみたのですが、床一面に描かれた日本列島や、地球のような丘のある広場、測量ゲームなど誰でも楽しめるものが多く2時間ほどはしゃいでしまいました。

ここでは紹介しきれない魅力がまだまだたくさんありますので、皆様も多方面から私たちの暮らしを支えている国土地理院、ぜひ一度遊びに行かれてはいかがでしょうか。



## 開館時間

午前9時30分～午後4時30分

## 休館日

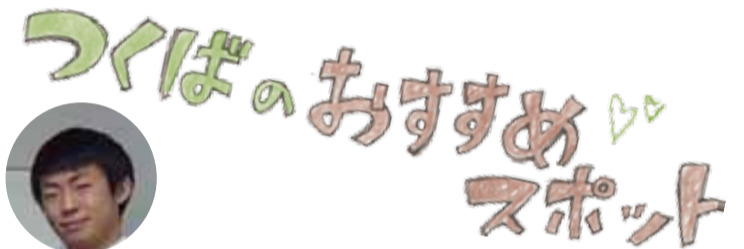
- 毎週月曜日（休日の場合は順次翌日）
- 年末年始（12月28日から1月3日）

## 入館料

無料

029-864-1872

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番



松本一平



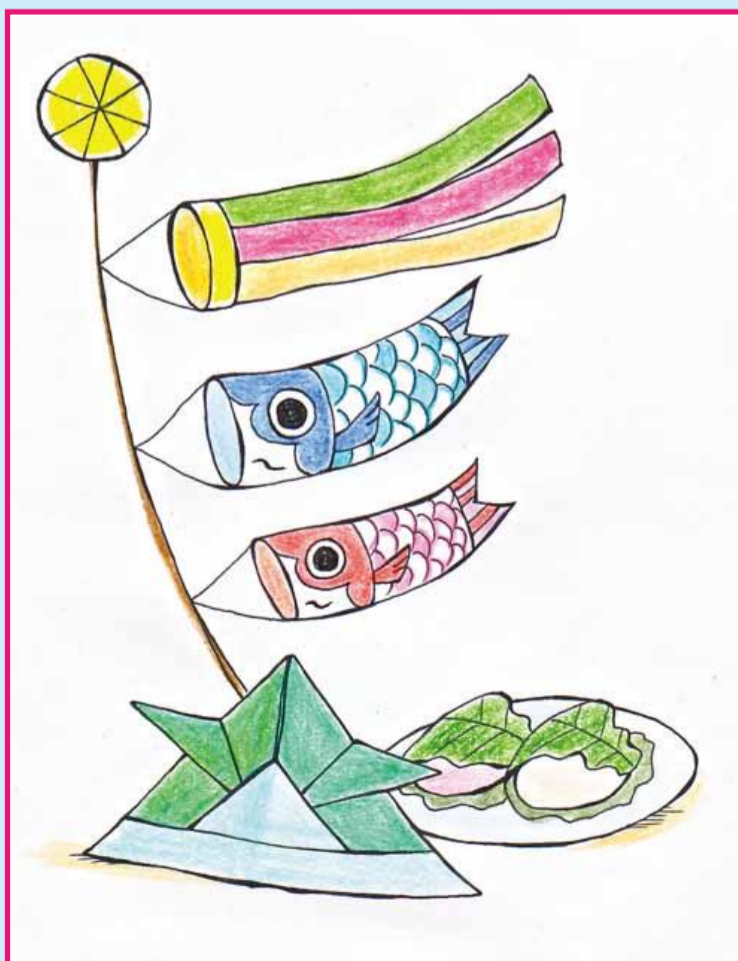
今回のテーマは端午の節句です！  
右と左では違う所が5つあります。  
あなたはいくつ見つかりますか？

頭の体操

# まちがい探し



園田有紀乃



前回の間違い探しの答えはこちら！



## イベント紹介

### 筑波大学宿舎祭

# やどかり祭



5月に開催される筑波大学の一大イベント、それが筑波大学宿舎祭、通称やどかり祭です。年度も新しくなり筑波大学にも多くの新入生がいろいろな地方からやってきました。この新入生たちが宿舎に入居する事をお祝いして行われるのがこのやどかり祭です。毎年多くの地域の方や学生で盛り上がるこのお祭りは今年で40回目をむかえます。当日は学生による多種多様な模擬店やワクワクするような企画が目白押しです。

ちなみに私たち Tsukuba for 3.11 も模擬店出店させていただきま

### ◎詳細◎

【日にち】前夜祭：5月30日(金)

本祭：5月31日(土)

【場所】平砂学生宿舎一带



詳しくはHPをご覧ください！



福井俊介



## 編集後記

今年度のつくしまは、春夏秋冬年4回の発行となりました。今回は春号の発刊という事でした。つくばにも春が来てきれいな桜が咲きましたね。お花見を楽しんだ方も多いと思います。春というのは始まりの季節、新しい生活が始まった方も中にはいると思います。このつくしまもまた新しい一歩を踏み出しました。いろいろな方に様々な記事を読んでいただこうと、記事の種類が多くなりました。お好きな記事をゆっくりと読んでいただきたいです。そして今回のつくしまですが、数人のメンバーは初めて記事を書きました。そういった点でもフレッシュなつくしまになっていると思います！

次回のつくしまは夏に発刊です。これからも皆さんに楽しんでいただけるようさらに進化を遂げていきたいと思います。次回のつくしまもぜひお楽しみに！！

↓こちらもぜひご覧ください。

☆ホームページ：<http://tsukubafor311.jimdo.com>

☆Facebook：<https://www.facebook.com/tsukubafor311>

☆Twitter：[@tsukubafor311](https://twitter.com/tsukubafor311)

